

**製品名: VRK2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19841**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	VRK2
別名	VRK2; Serine/threonine-protein kinase VRK2; Vaccinia-related kinase 2
遺伝子 ID	7444.0
SwissProt ID	Q86Y07
免疫原	抗血清はヒト VRK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

**背景**

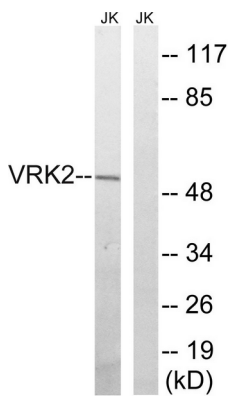
ワクシニア関連キナーゼ 2 (VRK2) ホモサピエンス この遺伝子は、セリン/スレオニンタンパク質キナーゼのワクシニア関連キナーゼ (VRK) ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、アポトーシスと腫瘍細胞の増殖を制御する

シグナル伝達経路のエフェクターとして機能します。この遺伝子の変異体は統合失調症と関連付けられています。選択的スプライシングにより、細胞内局在と生物学的活性が異なる複数の転写産物変異体が生成されます。[RefSeq 提供、2014年1月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: おそらくセリン/スレオニンキナーゼ。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。VRK サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。組織特異性: 広く発現しています。胎児の肝臓、骨格筋、脾臓、心臓、末梢血白血球、精巣で高発現しています。

## 研究分野

シグナル伝達; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; その他のキナーゼ

## 画像データ



VRK2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。